



◀神楽殿上部
「コウノトリ」が羽ばたく様子が描かれています



◀神楽殿鏡板
「コウノトリ」と「松」をモチーフに描かれています。松の力強さが感じられます



◀神楽殿

鴻神社に「コウノトリ」舞う！



鴻神社に伝わる「こうのとりの伝説」は、鴻巣という地名の由来の1つともいわれています。鴻神社では、より多くの皆さんに「鴻巣」を知っていただくため、コウノトリをテーマとした作品を飾りました。

この作品は鴻巣市出身の水彩画家・梶山立志さんが描き上げたもので、まさに「鴻巣」にゆかりのあるものとなっています。



▲会議室

「こうのとりの伝説」をテーマに描かれています。この他、鴻神社内にある「熊野社」「雷電社」に伝わる伝説を題材にした作品も飾られています



図書館を使った調べる学習コンクール



11月19日、市民活動センターで「第4回鴻巣市図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰式が行われました。市内小・中学校から応募のあった749点のうち、27点・30人の皆さんが受賞しました。なお、特に優秀だった15点は、図書館振興財団が主催する全国を対象とした「図書館を使った調べる学習コンクール」に推薦出品されます。

まちの話題

親子で楽しく！のびのび子育てフェスタ



▲好評のゴ口寝アート

11月26日、市民活動センターで、「のびのび子育てフェスタ in こうのす2017」を開催しました。子育て中のパパ・ママへ地域の子育て支援情報を発信するもので、4回目を迎えました。ステージイベントや遊びのコーナーなど盛りだくさんの内容で、約1,700人の親子が楽しみました。



▲上手に釣れるかな？

「楽しく生きること」の大切さを学ぶ



10月から1月にかけて、道徳教育の一環として、市内各中学校にNPO法人パラキャンから車椅子バスケットボール選手を招き、選手のデモンストレーションや講話等を実施しています。

子どもたちは、車椅子バスケットボールを体験したり、交通事故や病気などさまざまな理由で車椅子生活となった皆さんのお話を聞いたりして、「楽しく生きること」の大切さを学んでいます。

また、「出来ないことを数えるより、出来ることを数えよう」というメッセージが子どもたちに伝えられています。(写真は、12月6日に鴻巣中学校で行われたものです)



◀車椅子バスケットボールを体験

違いを見つけられるかな？▶
講師と一緒に、競技用と日常用の車椅子の違いを見つける生徒たち



青少年健全育成「市民のつどい」

11月25日、クレアこうのすで第35回青少年健全育成「市民のつどい」が開催されました。吹上秋桜高等学校太鼓部・ダンス部によるオープニングや、市内小・中学校から選ばれた作文・啓発ポスター・習字の特選者の表彰、作文特選者による発表などが行われました。



啓発ポスター

(郡司由佳さん・鴻巣中2年)

生涯学習フェスティバル



同時開催の生涯学習フェスティバルでは、フラメンコやギター演奏などのステージ発表、絵手紙や切り絵体験などが行われました。

まちの魅力を発信！「地域デビュー楽しみ隊」が活躍中

アクティブシニア（元気な高齢者）の地域デビューを後押しするため、県の公募により集まった、多様な経験や特技をもつ隊員の皆さんが活躍しています。隊員は自ら地域活動に取り組み、その楽しさやノウハウをメディアを通じて自分の言葉で発信しています。市内の元小学校長でもある深谷教子さん（写真）も活動しており、パーソナリティーを務めるフラワーラジオで鴻巣市の魅力を発信しています。詳細は県ホームページ（「地域デビュー楽しみ隊」で検索）をご覧ください。

